

[012] 中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/9884>

出版情報：中国文学論集. 12, 1983-12-31. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

彙報

○講義題目(昭和五十七年度)

特研 中國文學の諸問題

講義 李白論

演習 文選李善注

白氏文集

說文解字段注

紅樓夢

唐人小說

好逑傳

清代詩文

中國現代小說

中國語初歩

中國語

臨講 唐代文學史研究

○卒業論文(昭和五十七年度)

元好問と金末文壇

阮籍「詠懷詩」の反語表現について

岡村 教授

岡村 教授

岡村 教授

岡村 教授

岡村 教授

劉 教師

劉 教師

劉 教師

合山助教

岩佐助教

上尾助教

上尾助教

鈴木 教授

高倉 政美

田中 順子

王維詩における自然觀照の意味(學部) 一柳 年彦
潘岳の詩賦とその閱歴(學部) 下唐湊 律子
『鏡花縁』の構成とその創作意圖

陸機の擬古詩について(學部) 原 篤
老舍の「猫城記」について(學部) 眞崎 明子

○中國文藝座談會

第七十九回(昭和五十七年四月十一日)

潘岳の抒情詩についての一考察 下唐湊 律子

陸機の擬古詩について 眞崎 明子

創作論としての文心雕龍 甲斐 勝二

第八十回(昭和五十七年六月十三日)

老舍の「猫城記」について 松永 直子

清末革命運動と周樹人 牧角 悦子

劉向「九歎」の構成について 宮野 直也

第八十一回(昭和五十七年九月五日)

文心雕龍の選述目的とその構成 甲斐 勝二

袁中郎の性靈説と李卓吾の思想 西村 秀人

第八十二回(昭和五十七年十一月七日)

魯迅・内山そして長崎 永末 嘉孝

唐朝以前の國語學

「父之於子、實爲情欲發耳」 岡村 繁
第八十三回（昭和五十七年十二月十九日）

詩經の「興」について 木元 睦夫
傅玄について 小林 孝子

新世代の中國當代文學の一典型

——女流作家張潔の場合—— 與小田 隆一
第八十四回（昭和五十八年一月二十三日）

史記の中の司馬遷像 安積 由起子
高適——その生涯と詩作—— 西原 曉子

吳偉業の變節とその意識 中筋 健吉
第八十五回（昭和五十八年二月六日）

魚玄機・中國女流詩におけるその存在
の特異性 伊藤 直子

花間集の詞風と編纂意圖 東 英壽
當代文學における蔣子龍の位置づけ

——「喬廠長上任記」を中心として——
岩男 俊弘

京劇發展繼承問題の方向について大久保 早和子
○九州中國學會（於福岡大學 五月九日）

創作論としての『文心雕龍』 甲斐 勝二

○第三十四回日本中國學會（於日本大學
十月二・三日）

『文心雕龍』の撰述目的とその構成 甲斐 勝二
袁中郎の性靈說と李卓吾の思想 西村 秀人

○會員近著
小西 昇 『漢代樂府謝靈運詩論集』（葺書房 昭
和五十八年二月）

林田慎之助 中國の詩人九『枯淡詩人柳宗元』（集
英社 昭和五十八年二月）

中屋敷 宏 『中國イデオロギー論』（勁草書房
昭和五十八年五月）

岩佐 昌暉 『中國の少數民族と言語』（光生館
昭和五十八年七月）

目加田 誠 『目加田誠著作集第二卷、詩經譯注(上)』
『目加田誠著作集第三卷、詩經譯注(下)、
楚辭譯注』龍溪書舎 昭和五十八年九月）

○會員消息

愛甲 弘志 昭和五十八年四月 九州大學文學部助
手より京都女子大學講師

西村 秀人 昭和五十八年四月 九州大學文學部助手